tokiwa PHYTOCHEMICAL

P106/P134_MJ01_01
作成日 2021年12月24日

安 全 デ ー タ シ ー ト

(JIS Z7253:2019準拠)

Delphinidin 3-rutinoside chloride
塩化デルフィニジン 3-ルチノシド

１．製品及び会社情報

化学物質等の名称	Delphinidin 3-rutinoside chloride
会社名，担当部門	株式会社 常磐植物化学研究所，研究開発部
住所	千葉県佐倉市木野子158番地
電話番号	043-498-0007
ファックス番号	043-498-0561
緊急連絡電話番号	同上
電子メールアドレス	pureproducts@tokiwaph.co.jp
推奨用途及び使用上の制限	研究用試薬

２．危険有害性の要約

GHS分類	分類基準に該当しない

３．組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	単一製品
化学名又は一般名	塩化デルフィニジン 3-ルチノシド，Delphinidin 3-rutinoside chloride
含有量	≧98 %
化学式又は構造式	$C_{27}H_{31}O_{16}Cl$（分子量: 646.98）
官報公示整理番号	情報なし
CAS RN	15674-58-5

４．応急措置

吸入した場合	多量に吸入した場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動させ安静にさせる。呼吸困難又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行い、医師の処置を受ける。
皮膚に付着した場合	清浄な水又は微温湯で洗浄する。
眼に入った場合	直ちに流水で15分間以上洗い流し、必要に応じて眼科医の処置を受ける。
飲み込んだ場合	口の中をよく洗う。意識がないときは何も与えてはならない。直ちに医師の処置を受ける。

５．火災時の措置

適切な消火剤	水、粉末、二酸化炭素、泡沫等
使ってはならない消火剤	知見なし
特有の危険有害性	知見なし
特有の消火方法	知見なし
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。
回収・中和	漏洩物を掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。
封じ込め及び浄化方法・機材	漏洩物を出来るだけ回収し、大量の水で洗い流す。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い	**技術的対策**	「8. ばく露防止及び保護措置」参照
	局所排気・全体排気	作業場の換気は十分に行う。
	安全取扱い注意事項	粉塵が飛散しないように取り扱い、必要に応じて保護具を着用する。
保管	**技術的対策**	データなし
	混触禁止物質	データなし
	保管条件	乾燥した暗所で、-20℃以下で保管する。
	容器包装材料	データなし

８．ばく露防止及び保護措置

管理濃度		未設定
許容濃度	**日本産業衛生学会**	未設定
	ACGIH	未設定
設備対策		洗眼設備、局所排気装置を設置すること。
保護具	**呼吸用保護具**	必要に応じて、適切な呼吸保護具を着用すること。
	手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
	眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
	皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。
適切な衛生管理		作業中は飲食、喫煙しないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。

９．物理的及び化学的性質

物理状態	粉末
色	暗紫色
臭い	においはない
融点／凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	該当せず
引火点	該当せず
自然発火点	該当せず
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	該当せず
溶解度	水、希エタノールに可溶
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	該当せず
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	該当せず
粒子特性	データなし

１０．安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	熱、光、pHによる影響を受けやすい。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	高温、多湿
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし
その他情報	特になし

１１．有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	データなし
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データなし
誤えん有害性	データなし

１２．環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし

１３．廃棄上の注意

適切な廃棄方法	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
容器・包装資材の廃棄方法	容器は内容物を完全に除去すること。廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

１４．輸送上の注意

国際規制	
国連分類	国連の定義上危険物に該当しない
国連番号	該当しない
国内規制	
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない
陸上規制情報	該当しない
特別な安全上の対策	特になし

１５．適用法令

医薬品医療機器等法 指定薬物	該当物質なし
消防法 危険物	該当物質なし
労働安全衛生法の通知対象物質	該当物質なし
毒物及び劇物取締法	該当物質なし
船舶安全法（危規則）	該当物質なし
航空法	該当物質なし
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	該当物質なし

１６．その他の情報

特になし

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、お取扱い願います。